

＜報告事項＞令和7年度事業報告

令和7年度事業報告書

(一社) 東京都産業資源循環協会は、東京都と緊密に連携しながら、東京から排出される産業廃棄物の適正処理及び資源循環の推進に取り組んでいる。

令和7年度、協会はリチウムイオン電池火災問題に積極的に取り組み、都における対策等を実現した。災害廃棄物対策についても都、区、市の取組に参画し、マニュアル策定等に協力した。また、サーキュラー・エコノミーへの移行が推進されるなか、資源循環を高めるより高度な中間処理を目指し諸活動に取り組んだほか、脱炭素化やトレーサビリティ向上をめざしたDX化の推進にも取り組んだ。さらに、労働災害防止の活動に力を入れ成果を上げたほか、人材確保のための新しい試みにも取り組んだ。

1. 適正処理・資源循環推進事業

(1) 調査研究事業

1) 調査研究

法令改正や、資源循環産業の一翼を担う産業廃棄物処理業界の社会的役割等も十分踏まえながら、適正処理の推進と循環型社会・脱炭素社会・デジタル社会の進展に向けた調査研究を行うとともに、東京都などに対し提案・要望を行った。

・(公社) 全国産業資源循環連合会からの受託調査

2050年温室効果ガス排出実質ゼロ(カーボンニュートラル)に向けて、協会会員と排出事業者に対し、脱炭素対策の取組状況やスコープ3に係る取組の導入状況等の調査を実施した(9～10月)。359社にアンケート調査を行ったのち、10社にヒアリング調査を実施した(1月～2月)。

・東京都予算に関する要望活動

令和8年度東京都予算について都議会各政党への要望活動(8月)及び東京都知事への要望活動(12月)を行った。これらの結果、令和8年度都予算においてリチウムイオン電池火災緊急対策事業補助金等を実現した。

2) 普及啓発

調査研究の成果を含め、ホームページ等により、広く一般に普及啓発を行っている。

(2) 研修事業

1) 一般研修事業

適正処理及び資源循環を広く推進していくため、協会主催や関係団体の協力を得ながら研修会、講習会等を実施している。

① 建設廃棄物・四団体合同施設見学会・意見交換会

〔本協会・建設廃棄物委員会 主催〕

参加団体 : (一社)東京建設業協会、(一社)東京建物解体協会、(一社)東京都中小建設業協会、(一社)東京都産業資源循環協会 建設廃棄物委員会

期 日 : 令和7年10月10日 開催 (参加者39名)

見学先 : 株式会社丸幸 (バーチャル施設見学)

意見交換相手: 東京都環境局、都市整備局、
(公財)日本産業廃棄物処理振興センター

内 容 : ・コンクリート塊等の資源循環
・資源循環とDX
・再生砕石と汚泥の利用活用と促進
・リチウムイオン電池の取り扱い
・電子マニフェストの追加項目について

② 医療廃棄物適正処理研修会

〔本協会/東京都環境局/(公社)東京都医師会 主催〕

研修会の開催に代えて、東京都医師会のホームページ上に関係団体から提供される資料を一定期間掲載することになり、医療廃棄物委員会で資料を作成し提供した(資料掲載期間:令和8年3月1日~3月31日)。

2) 講習会事業(許可申請等に関する講習会)

東京都内で実施される許可申請に関する収集・運搬課程、処分課程及び特別管理産業廃棄物管理責任者の講習会を、実施機関である(公財)日本産業廃棄物処理振興センターに協力し、多くはWeb申込によるオンライン学習の後、会場で試験を受ける方法で実施する。なお、(対面)とあるのは、会場で講義・試験を行う方法で実施するもの。

① 新規許可申請講習会

1, 172名

ア 産業廃棄物の収集・運搬課程

令和7年 5月	1回	開催	137名
令和7年 7月	1回	開催	130名
令和7年10月	1回	開催	132名
令和7年11月	1回	開催(対面)	138名
令和7年12月	1回	開催	123名
令和8年 2月	1回	開催(対面)	138名

イ 産業廃棄物の処分課程

令和7年 6月 1回 開催 96名

ウ 特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

令和7年 6月 1回 開催 110名

令和7年 9月 1回 開催(対面) 58名

エ 特別管理産業廃棄物の処分課程

令和7年 7月 1回 開催 70名

令和7年10月 1回 開催(対面) 40名

② 更新許可申請講習会

1, 786名

ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

令和7年 4月 2回 開催 273名

令和7年 5月 1回 開催 143名

令和7年 6月 1回 開催 141名

令和7年 7月 1回 開催 141名

令和7年 7月 1回 開催(対面) 138名

令和7年 9月 1回 開催 141名

令和7年11月 1回 開催 140名

令和7年12月 1回 開催 137名

令和8年 2月 1回 開催(対面) 147名

令和8年 3月 1回 開催 144名

令和8年 3月 1回 開催(対面) 144名

イ 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の処分課程

令和7年10月 1回 開催 97名

③ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会

1, 979名

令和7年 4月 2回 開催 269名

令和7年 5月 2回 開催 183名

令和7年 6月 1回 開催 135名

令和7年 7月 1回 開催 138名

令和7年 7月 1回 開催(対面) 141名

令和7年 9月 1回 開催 133名

令和7年10月 1回 開催(対面) 144名

令和7年11月 1回 開催 136名

令和7年11月 1回 開催(対面) 139名

令和7年12月 1回 開催(対面) 140名

令和8年 2月 1回 開催 143名

令和8年 3月 1回 開催 141名

令和8年 3月 1回 開催(対面) 137名

④ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会 (医療関係機関等対象)

132名

令和7年12月 72名

令和8年 2月 60名

⑤ PCB廃棄物の収集運搬作業従事者講習会

45名

令和7年12月

45名

(3) 相談指導事業

会員その他業界関係者、一般企業や都民からの産業廃棄物の処理業者の紹介、斡旋に関する協会への問い合わせに的確に対応した。

令和7年度の相談実績（4月～3月）

2,983 件の内訳

I. 問合せ者の内訳			II. 紹介先の内訳		
内 訳		件数	内 訳		件数
① 産廃処理業関係		113	① 会員を紹介		2,353
排出事業者	② 建設業関係	64	② 各自治体 (清掃事務所等)		232
	③ 行政関係 (区市町村)	52	③ 粗大ごみ受付センター 家電リサイクル受付センター		42
	④ 医療機関	156	④ リサイクル関連団体		33
	⑤ 一般都民	1,418	⑤ 東京都(法律相談等)		136
	⑥ その他	1,180	⑥ JWセンター		84
				⑦ 飛沫防止パーテーションのリサイクル	
			⑧ その他		94

2. 環境対策事業

(1) 環境活動

なし

(2) 環境対策事業

なし

(3) 災害廃棄物対策事業

- ・東京都環境局に新設された災害廃棄物対策専門課長と「東京都災害廃棄物処理計画」及び「特別区災害廃棄物処理対策ガイドライン実効性向上に向けた提案書」について意見交換を行った（6月）

- ・特別区清掃リサイクル課長会の災害廃棄物処理対策検討会に参加し、「特別区災害

廃棄物対策ガイドライン」の見直しについて協議した（7月、9月、10月、12月、2月）

- ・練馬区と災害廃棄物の一次仮置場運営に関する協定書について協議を進め（9月）、協定書を締結した（3月）

- ・東京都が多摩地域の2地区（浅川清流環境組合管内、小平・村山・大和衛生組合管内）で進める災害廃棄物合同処理マニュアル策定のための関係者会議に出席し協議に参加した（9月、11月、1月、2月）

- ・小金井市、日野市、国分寺市の3市と、災害廃棄物の処理等に関する協定について協議を進めた（10月）

3. 普及事業

(1) 普及事業

1) 普及・広報活動

協会の社会的意義や取組状況などを、機関誌「とうきょうさんばい」をはじめ、ホームページ等で紹介し、広報に努めた。

2) 図書等の有償頒布

有償頒布図書 (4月～3月)

建設廃棄物処理委託契約書	360部
建設廃棄物処理委託契約書様式及び記入例	34部

3) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）普及事業

廃棄物処理法で義務づけられている、産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、（公社）全国産業資源循環連合会及び建設六団体副産物対策協議会から受託し販売した。

また、電子マニフェストシステムについては、電子マニフェストの運用を円滑に行うための「電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）」〔（公社）全国産業資源循環連合会 発行〕の販売を行った。

産業廃棄物管理票普及実績 (4月～3月)

種類		単票	連続票	計
産業廃棄物	直行用	117,900セット	98,000セット	215,900セット
	積替用	16,200セット	18,500セット	34,700セット
建設系廃棄物		178,900セット	193,500セット	372,400セット
合計				623,000セット*

*対前年度比 78%

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状頒布実績

(4月～3月)

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状(受渡確認票)	20,800セット
--------------------------	-----------

*対前年度比 108%

(2) 機関誌の発行事業

協会における基本的な情報伝達手段である、機関誌「とうきょうさんぱい」は第416号から第427号を発行した。

内容は、協会、(公社)全国産業資源循環連合会、環境省、東京都の動向等を中心に確実性と速報性に富んだものとして誌面の充実を図った。

<主な記事>

- ① 第416号 DX推進事業など協会要望事項が予算化
東京都令和7年度予算
- ② 第417号 東京都環境局・八王子市
産業廃棄物担当等関係職員の就任ご挨拶
- ③ 第418号 [第13回 定時総会を開催]
令和6年度 事業報告、決算を承認
令和7年度 表彰式 4部門で7社13名が受賞
- ④ 第419号 新入会員と協会役員との懇談会
- ⑤ 第420号 [多摩支部だより]
令和7年度 多摩支部会・研修会を開催
- ⑥ 第421号 令和8年度 東京都予算で要望活動
- ⑦ 第422号 [収集運搬委員会]
「採用設計&面接官トレーニングセミナー」を開催
- ⑧ 第423号 [建設廃棄物委員会]
「四団体合同施設見学会・意見交換会」を開催
- ⑨ 第424号 令和7年度 国内処理施設見学研修会
「第1回資源循環と環境を考える全国大会」
- ⑩ 第425号 新年のご挨拶 会長/東京都環境局長
- ⑪ 第426号 第2回 安全衛生推進大会 / 令和8年 賀詞交歓会
- ⑫ 第427号 令和8年度 事業計画及び予算決まる

(3) 会員事業

1) 会員研修事業

会員企業における、経営基盤の安定、法令の習熟、廃棄物処理知識の充実、資質の向上を図るため、経営者レベル、実務者レベルなど各職層に合わせた研修会、講習会を実施した。

① 国内処理施設見学研修会

期 日 : 令和7年10月30日 16名
見学先 : 株式会社マテック 苫小牧支店 SR工場 (北海道苫小牧市)

② 産業廃棄物収集運搬業のための採用設計セミナー 第2弾「採用設計&面接官トレーニングセミナー」

[収集運搬委員会主催]

期 日 : 令和7年9月4日 35名
内 容 : 採用設計編:会社・社員の魅力を引き出す手法について
面接編:イマドキの面接～定着までの流れについて
グループワーク編:自社の魅力を考え、他社と意見交換
成功事例編:実際にうまくいった秘訣について
講 師 : 株式会社L I G O
場 所 : エッサム神田ホール2号館(千代田区)

③ エコドライブ研修会

[収集運搬委員会主催]

期 日 : 令和7年10月3日 21名
内 容 : 走行体験 <通常運転>
座学講習 <省燃費運転のポイント>
走行体験 <省燃費運転>
省燃費結果報告
EDSS/PCS 概要説明・体験試乗
講 師 : 日野自動車株式会社 お客様テクニカルセンター
場 所 : 日野自動車株式会社 羽村工場

④ 「リチウムイオン電池の適切なリサイクルについて」オンラインセミナー

[中間処理委員会 破碎・圧縮分科会主催]

期 日 : 令和7年7月7日 113名
内 容 : リチウムイオン電池処理について
講 師 : (一社) J B R C、松田産業株式会社
場 所 : 協会会議室

⑤ 医療廃棄物研修会

[医療廃棄物委員会主催]

期 日 : 令和7年11月14日 29名
内 容 : 日本の医療・東京医療の展望について
講 師 : (公社)東京都医師会 会長
場 所 : アジア会館

2) 会員交流・増強事業

- ① 会員の連携強化と協会の活性化を図るため、総会後の懇親会(5月29日)を開催した。また、部門別においても、多摩支部、青年部、女性部が諸活動を積極的に行った。
- ② 会員数の維持・増加を図るため、入会希望者に対して丁寧な説明を行うなど、あらゆる機会を活用して会員数の維持・増加に努めた。
また、新入会員から協会への要望等を聞くため、協会役員との意見交換会を6月11日、11月5日に開催した。

会 員 数 の 推 移

	正 会 員	賛助会員	計
令和7年3月末日会員数	534	73	607
令和7年4月1日会員数	533	73	606
令和7年度 入会者数	4	12	16
〃 退会者数	18	6	24
令和8年3月末日会員数	520	80	600

③ 関係団体との協力では、(公社)全国産業資源循環連合会、関東地域協議会の諸活動に参画し、積極的に情報交換等を行っている。また、排出事業者等の諸団体と適正処理の推進と業界発展に向け、協力・交流を継続した。

3) 顕彰・表彰事業

令和7年5月29日、第13回定時総会に引き続き表彰式を執り行い、『功労者』3名、『優良事業所』6社、『優良従事者』10名、『安全衛生・安全衛生推進委員長賞』1事業所を表彰した。

4) 人材の確保に向けた採用支援

① 人材確保プロジェクト

- ・6月3日、7月22日に会議を開催した。令和7年度の具体的な活動内容等について協議し、「若手社員のためのスーパーエコタウン研修会《第3回》」及び初の取組として「会員企業人事担当者と大学キャリアセンター担当者の意見交換会」を同時開催することを決定した。9月24日の会議では、メンバーの役割分担を決め、当日の運営等について確認した。
- ・10月23日、スーパーエコタウン（大田区城南島）の会員企業施設において「若手社員のためのスーパーエコタウン研修会《第3回》」及び「会員企業人事担当者と大学キャリアセンター担当者の意見交換会」を開催した。参加者は会員若手社員37名、会員人事担当者12名、大学関係者5名であった。（機関誌第425号に報告記事掲載）
- ・2月24日、「育成就労制度」「特定技能制度」について、2027年4月から資源循環分野が対象に追加されることを受け、関連する団体より講師を招き、正会員向けオンラインセミナー「外国人材の円滑な受入れについて」を開催した。約50名が参加。セミナー終了後の会議では、令和8年度の活動内容等について検討した。

② 業界別人材確保強化事業（カスタマイズ支援）

東京都と（公財）東京しごと財団が連携して人材確保の課題解決を図り、中小企業を支援する本事業に会員企業11社が参加、協会はこの取組を支援した。

- ・12月4日、fabbit 会議室丸の内ホールAにてキックオフセミナーを開催し、オンライン参加者を含め21名が参加した。
- ・人材確保の専門家が11社を個別に訪問し、課題解決を図るコンサルティングを計22回実施した。

4. 管 理 運 営

(1) 総 会 (1回)

第13回定時総会 期 日 : 令和7年5月29日
 場 所 : 東京プリンスホテル (港区)
 議 案 : ①令和6年度事業報告
 ②令和6年度決算報告承認の件
 ③監事選任の件
 出席者 : 357名 (委任状・議決権行使書を含む)

(2) 理事会 (定例会9回)

第97回理事会 期 日 : 令和7年4月9日
 第98回理事会 期 日 : 令和7年5月13日
 第99回理事会 期 日 : 令和7年6月11日
 第100回理事会 期 日 : 令和7年7月9日
 第101回理事会 期 日 : 令和7年9月10日
 第102回理事会 期 日 : 令和7年11月12日
 第103回理事会 期 日 : 令和7年12月10日
 第104回理事会 期 日 : 令和8年1月14日
 第105回理事会 期 日 : 令和8年3月11日

(3) 常任理事会 (10回)

令和7年 4月9日、4月24日、5月13日、7月9日、9月10日、
 11月12日、12月10日
 令和8年 1月14日、3月11日、3月24日

(4) 第2回安全衛生推進大会

[企画・運営 安全衛生推進委員会]

期 日 : 令和8年1月26日 (月) 開催
 場 所 : ホテルニューオータニ (千代田区)
 出席者 : 147名
 来 賓 : 東京労働局 労働基準部 安全課長

講演：産業廃棄物処理業における
労働災害防止対策について
【講師】東京労働局 労働基準部
安全課 地方産業安全専門官

(5) 協会事務運営

1) 会費の集金事務（自動振替のすすめ）

正会員会費の「預金口座振替制度」は以前から実施していたが、協会事務の効率化と請求書送料等通信運搬費の削減のため、原則預金口座からの自動引き落としとすることを令和元年7月の理事会で決定した。令和8年3月31日現在、82%の正会員が自動振替となっている。

2) 会員への電子メールによる情報提供

情報提供の迅速化、複数回の連絡による周知徹底等のために、電子メールによる情報提供を進めた。

3月末日現在でメールアドレスを登録いただいた正会員は89%、賛助会員は86%である。

5. 委員会・部会活動

(1) 総務委員会

- ① 11月12日に委員会開催
- ② 3月24日に委員会開催

(2) 法制度検討委員会

- ① 4月25日、6月23日、7月18日、10月24日、2月20日に委員会を開催した。
- ② 省令改正に伴う電子マニフェストの新入力項目（再生利用割合や最終処分場詳細等）への実務負担軽減のため、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター(JWNET)の担当者を招致し、具体的な操作方法やパターンの活用に関する講習会を開催した。
- ③ 一部のホームビルダーによる廃棄物実量に基づかない「坪単価・平米単価」での不適切な契約（逆単価問題）について、法的見解の整理を行い、(公社)全国産業資源循環連合会を通じて環境省へ指導・通達を要請する方針を決定した。
- ④ リチウムイオン電池混入による火災リスクに関し、東京都のモデル契約書に排出事業者の賠償責任条項を盛り込むよう要望を行うとともに、長期的には製造者責任に基づく基金設立や法整備を国へ働きかけることとした。
- ⑤ 産廃・特管の許可申請日の統一について議論を行った。

(3) 広報委員会

機関誌「とうきょうさんばい」の発刊

- ① 機関誌発刊のため、毎月1回（年12回）委員会を開催した。
- ② 法令関係等会員各位へ迅速にお知らせすべき事柄に注力した。
- ③ 協会主催の行事内容については詳細に伝達した。
- ④ 協会各役員の協会運営への施策について伝達した。
- ⑤ 資源循環情報等、会員各位の事業紹介について原稿を募集した。
- ⑥ 会員読者の誌面への参加を求めた。
- ⑦ カラーページの広告掲載を開始した。

(4) 安全衛生推進委員会

- ① 6月18日、11月26日、3月26日に委員会を開催した。
- ② 安全衛生推進大会の企画・運営を主導し、参加者の理解促進と安全意識向上に寄与した。（1月26日開催）
- ③ 協会名入り熱中症対策ポスターを会員各社に配布した。（5月）
- ④ ヒヤリハット事例を協会機関誌に毎号掲載した。東京局内の労働災害発生件数速報値も同時に掲載した。（8月よりカラーページ）
- ⑤ 安全衛生標語の募集を行った。（9月）（1月安全衛生推進大会で表彰式）
- ⑥ 「SAFETY IDEA ♡ 東産協」会員各社の安全衛生取組事例の募集を行った。
(9～10月)
- ⑦ 厚生労働省主催の「SAFE コンソーシアムアワード」へ応募した。（11月）
- ⑧ 東京労働局との合同安全衛生パトロールを行った。（10月7日）
- ⑨ 安全衛生活動の現状調査を行った。
(12月に全正会員526社へ郵送した。回答277社、回答率52.7%)

(5) 災害廃棄物委員会

特別区の災害廃棄物ガイドラインの見直し及び多摩2地区での災害廃棄物合同処理マニュアルの検討に参加したほか、練馬区及び日野市・国分寺市・小金井市との災害廃棄物処理協定について協議を進め、3月に練馬区と協定を締結した。12月に委員会を開催した。

- ① 6月23日 東京都災害廃棄物専門課長と意見交換を開催
- ② 7月22日 特別区清掃リサイクル課長会から災害廃棄物処理対策検討会への参加依頼
- ③ 9月 3日 特別区第2回災害廃棄物処理対策検討会作業部会

- ④ 9月 4日 浅川清流環境組合合同処理マニュアル策定へ向けた第1回関係者会議
災害廃棄物合同処理マニュアルについて協議
- ⑤ 9月12日 小平・村山・大和衛生組合合同処理マニュアル策定へ向けた第1回関係者会議
災害廃棄物合同処理マニュアルについて協議
- ⑥ 9月30日 練馬区と一次仮置場の運営委託について協議
- ⑦ 10月 6日 日野市・国分寺市・小金井市と災害廃棄物処理協定について協議
- ⑧ 10月10日 特別区第3回災害廃棄物処理対策検討会作業部会
- ⑨ 11月12日 小平・村山・大和衛生組合第2回関係者会議
- ⑩ 11月21日 浅川清流環境組合第2回関係者会議
- ⑪ 12月 2日 特別区第4回災害廃棄物処理対策検討会作業部会
- ⑫ 12月 4日 災害廃棄物委員会を開催
特別区災害廃棄物処理ガイドライン、練馬区一次仮置場運営協定、日野・国分寺・小金井市災害廃棄物処理協定、多摩2地区の合同処理マニュアル等について協議した
- ⑬ 1月29日 浅川清流環境組合第2回関係者会議
- ⑭ 2月 2日 小平・村山・大和衛生組合第3回関係者会議
- ⑮ 2月 4日 特別区第4回災害廃棄物処理対策検討会・第5回災害廃棄物処理対策検討会作業部会（合同会議）
- ⑯ 3月27日 練馬区と「災害時における一次仮置場の運営に関する協定書」を締結

(6) 収集運搬委員会

- ① 5月12日、6月25日、11月21日、12月12日、2月10日に委員会を開催した。
- ② 6月25日の委員会内で、講演会および意見交換会を行った。
【テーマ】東京都2050年CO2排出実質ゼロに向けた最新の動向と今後 産業資源循環業者に期待すること
【講師】東京都環境局資源循環推進部 資源循環計画担当部長
- ③ 7月25日～26日に施設見学会を開催した。（株式会社吉川油脂 本社・本社工場）
- ④ 9月4日に人材確保研修会を開催した。
- ⑤ 10月3日にエコドライブ研修会を開催した。
- ⑥ 11月21日の委員会内で、勉強会を開催した。
【テーマ】理念経営について

【講師】サインポスト株式会社

(7) 中間処理委員会

- ① 6月9日に関東プラスチックリサイクル協同組合と意見交換を開催した。
- ② 9月9日にアマゾンウェブサービスジャパン合同会社で見学会と勉強会を開催した。
- ③ 破碎・圧縮分科会では、5月14日に分科会を開催した。7月7日にオンラインセミナーを開催した。2月17日に分科会を開催した。10月20日に施設見学会を開催した。視察先は株式会社Jサーキュラーシステム。(参加者19名)
- ④ 焼却分科会では、9月18日に分科会を開催した。
- ⑤ 中和・脱水分科会では、6月27日、2月5日に分科会を開催した。
- ⑥ 10月20日ー21日に中和・脱水分科会と焼却分科会の合同施設見学会を開催した。視察先は株式会社京葉興業福島事業所。(参加者5名)

(8) 建設廃棄物委員会

- ① 6月4日に委員会を開催した。
- ② 10月10日に四団体合同施設見学会・意見交換会を開催した。視察先は株式会社丸幸(バーチャル施設見学会)。同日に東京都と四団体で意見交換会を開催した。(参加者39名)
- ③ 建設混合廃棄物分科会では、2月24日に一都三県建設混合廃棄物意見交換会を開催した。(参加者43名)
- ④ 建設汚泥・再生砕石分科会では、2月27日に分科会を開催した。

(9) 医療廃棄物委員会

- ① 6月6日、8月27日、10月1日、3月6日に委員会を開催した。
- ② 9月12日、神奈川県協会が主催となり、東京・神奈川・静岡各都県協会の医療廃棄物委員会・部会で一都二県医療廃棄物合同懇談会を開催した。
- ③ 11月14日に「感染性許可取得会員企業向け研修会」を開催した。
- ④ 3月6日に施設見学会を開催した。
見学先：高輪ゲートウェイ バイオガス施設

(10) 多摩支部

- ① 多摩支部会・研修会
6月13日に多摩支部幹事会・支部会・研修会を開催した。
- ② 研修会
11月28日に法制度検討委員会主催の高度化法の研修会を開催した。
- ③ 多摩支部幹事会及び適正処理意見交換会

2月6日に、多摩支部幹事会、多摩環境事務所廃棄物対策課と八王子市廃棄物対策課との適正処理意見交換会を開催した。

④ 施設見学会

3月6日～7日にコミュニケーション委員会主催で施設見学会を開催した。

見学先：ジャパンウェイスト株式会社（横浜工場）

(11) 青年部

- ① 幹事会を4月23日、5月30日、6月26日、7月18日、9月5日、10月14日、11月13日、12月15日、1月27日、2月18日、3月13日の計11回開催した。
- ② 5月30日に定時総会を開催した。また、合わせて勉強会を行った。
- ③ 7月18日に青年部部員交流会を開催した。
- ④ 10月9、10日に大阪近郊廃棄物処理施設および大阪・関西万博視察を行った。
- ⑤ 1月27日に青年部新春講演会・賀詞交歓会を開催した。
- ⑥ 1月27日に東京都環境局との合同事業研修としてエコノバ TOKYO を開催した。また今後、定期的に東京都環境局との連携を取り、合同事業を開催することとした。

(12) 女性部

- ① 幹事会を4月22日、5月15日、6月6日、7月17日、8月21日、10月15日、11月20日、12月18日、1月19日、2月25日、3月19日の計11回開催した。
- ② 6月6日に定時総会を開催した。また、合わせて勉強会を行った。
- ③ 8月21日に女性部全体会を開催した。
- ④ 12月18日に女性部年末勉強会・懇親会を開催した。
- ⑤ 2月25日に法律勉強会を開催した。
- ⑥ 3月30日に東京都環境局による講演会を開催した。